

令和5年度
阪南市外部評価委員会
報告書

令和5年10月

阪南市外部評価委員会

1. 答申書の提出にあたって

阪南市外部評価委員会は、評価視点の多角化により行政評価の客観性を向上し、総合計画の実効性を高めるため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき設置された。具体的には、総合計画に掲げられた施策に関する内部評価を検証することが主な役割である。

令和5年度は、7月31日（月）に市長の諮問を受け、令和4年度の内部評価結果について検証するために、計5回の委員会を開催した。委員会では、外部評価の対象とする6施策を選定したのち、評価対象とした施策に関する担当課へのヒアリングを実施し、評価シートとヒアリングの内容を踏まえた審議を行った。

審議の結果、総合計画で掲げた目標の達成に向けて、まだ解決すべき課題が残っている施策については、『★1.5（「★★：施策のめざす姿に近づいている」にやや足りない「★：施策のめざす姿にやや近づいている」）』という区分を設けるとともに、重要な課題があり、迅速な対応が必要である施策、これまで以上に積極的に具体的な活動に取り組む必要がある施策については、外部評価の判定区分を「★：施策のめざす姿にやや近づいている」とした。

今回、ヒアリングした施策については、施策の担当課だけではなく、市全体で取り組まれる方が効果的である施策が多く見受けられた。施策のめざす姿を達成するために庁内各部署がこれまで以上に協力・連携することが重要であると考えます。

外部評価の判定については、評価シートの記載やヒアリングの結果を受けて、委員一人ひとりが深く検討し、委員会での議論を重ねた結果であることから、この答申が総合計画に掲げた将来の都市像の実現に向け、今後の施策の実施に十分に活用されることを期待したい。

令和5年10月20日
阪南市外部評価委員会

2. 答申（対象施策の評価結果）

施策名 (施策コード)	地域コミュニティの活性化 (102)	内部評価	★★	外部評価	★ (1)
判定理由	<p>生活様式が変化している中で、これからの市民の生活に大きく影響する、住民センターの地域移譲や地域運営組織の設立といった難しい取組を進めておられることは一定評価したい。</p> <p>一方で、設定した2つの指標の目標が達成されておらず、また、事業の効果・成果の把握が限定的で、施策の成果が十分に見えてこない。また、施策のめざす姿に近づくためには、阪南市や各地域の実情、それに対して市がどのような取組を進めようとしているのかを、今まで以上に丁寧に市民に説明していく必要があると考える。</p> <p>以上から、「★：施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p>				
委員提案 (令和6年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域コミュニティの活性化」は、各地域の成り立ちや特徴を十分に踏まえたうえで、それらをしっかりと生かせるように進めていただきたい。 ・指標「地域課題把握数」については、誤解が生じないように、わかりやすい説明を加えていただきたい。 ・地域での取組の活性化に向けて、阪南市として中間支援をどのように考えるのか、そのなかで市民活動センターにどのような役割を担ってもらうのかをしっかりと考えていただきたい。 				

施策名 (施策コード)	公民連携を推進するまち づくり (103)	内部評価	★★	外部評価	★★ (2)
判定理由	<p>ONE ACTIONに掲げる指標も含めて、全ての指標で目標値を達成していることを高く評価する。これは市や地域の課題に沿った実証実験や、「TEAM EXPO 2025」プログラムの共創チャレンジに積極的に取り組んだ結果であり、全国に阪南市の事例が紹介されてさらなる取組につながるという好循環を実現していると考えられる。</p> <p>今後は、施策の課題として示されているとおり、早急に公民連携に関する取組を評価し、その結果を次の取組の実施につなげるための評価制度を構築し、全体として公民連携の質を高めることに努めていただきたい。</p> <p>以上から、内部評価と同じく、「★★：施策のめざす姿に近づいている」と判断した。</p>				
委員提案 (令和6年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早急に公民連携にかかる事後評価制度の構築していただきたい。 ・ (上記とも関連するが) 公民連携の推進に際しても、目標の明確化、達成度の把握、市民への説明にしっかりと取り組んでいただきたい。 ・ 公民連携で取り組む事業と類似の既存事業の見直しにも取り組んでいただきたい。 ・ 公民連携の推進に当たっては、企画段階から積極的に事業の実施を担う課が関わるなど全庁での連携を一層推進し、多くの職員に学びを得る機会を提供できるよう努めていただきたい。 ・ 担当課の業務が過多とならないよう配慮していただきたい。 				

施策名 (施策コード)	地域共生社会の実現 (201)	内部評価	★★	外部評価	★★ (2)
判定理由	<p>コロナ禍の中でも感染予防対策を講じながら地域の活動を継続したことや、社会福祉協議会と密に連携してきめ細かな活動に取り組まれていること、業務に携わる職員の研修もしっかりと行われていることなどにより、各種事業が効果を上げ、指標が目標値を達成していることを高く評価する。</p> <p>今後も、社会福祉協議会や地域の関係機関・団体、市民、企業と連携しながら、誰ひとり取り残さない支援体制を整えていただきたい。</p> <p>以上から、内部評価と同じく、「★★：施策のめざす姿に近づいている」と判断した。</p>				
委員提案 (令和6年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になっても障がいがあっても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、通院、買い物などに伴う「移動・外出」は欠かせない。福祉担当課と交通担当課が相互に連携して、地域における移動手段の確保に努めていただきたい。 ・施策を進めていくうえで市と社会福祉協議会との役割分担を明確にし、事業委託元としての役割を果たすことにも引き続き留意していただきたい。 				

施策名 (施策コード)	循環型社会の形成 (304)	内部評価	★★	外部評価	★★ (1.5)
判定理由	<p>施策のめざす姿の達成に向けてこれまで取り組んできた事業を着実に実施し、ONE ACTIONに掲げる指標も含めて、全ての指標が概ね目標値を達成していることを評価したい。</p> <p>しかしながら、ごみの減量促進に向けて、市民の取組を促進することが十分とは言えない。SDGs 未来都市に選定されたことやカーボンニュートラルと関連付けて、市民の意識を高める啓発活動に積極的に取り組む必要がある。また、事業実施のための予算が限られるなかでも、新しい事業や既存事業でも今までとは少し異なる実施方法ができないかを検討し、実践していただきたい。</p> <p>以上から、内部評価の「★★：施策のめざす姿に近づいている」にやや足りない「★：施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p>				
委員提案 (令和6年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの資源化及び減量化に関する事項を協議する、市民の代表者、事業者を代表する者、行政関係者で構成する「阪南市ごみ減量化・資源化推進協議会」が十分に機能するように働きかけていただきたい。 ・行政サービス協働化制度「はなていアクション事業」において採択された家庭ごみ収集運搬業務については、これまでの実績や課題を今後の実施に反映させていただきたい。 ・人員確保の件も含めて、今後、阪南市のごみの収集をどのように行っていくのかを考えていただきたい。 ・老朽化している焼却炉の更新については、泉南清掃事務組合と調整して計画的に進めていただきたい。 				

施策名 (施策コード)	就学前教育・保育の充実 (401)	内部評価	★★★	外部評価	★★★ (2.5)
判定理由	<p>機構改革による窓口の一本化や「待機児童数」ゼロをめざした各園所などとの様々な調整など、施策を構成する様々な事業を工夫しながら実施されており、その結果が設定された指標の実績値の向上など、具体的な成果につながっていることを高く評価する。</p> <p>一方で、安全・安心な教育・保育環境の整備にまだ十分に取り組めていない施設がある。財源が課題ということであるが、計画の実現に向けて早急に検討し、整備に着手することが求められる。</p> <p>以上から、内部評価の「★★★：施策のめざす姿が実現している」にやや足りない「★★：施策のめざす姿に近づいている」と判断した。</p>				
委員提案 (令和6年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育を安全に受ける環境を整えるために、「阪南市子育て拠点再構築方針」の中で示されている石田保育所と下荘保育所の統合（認定こども園化）に関する計画を早急に具体化し、迅速に取組を進めていただきたい。 ・若い世代の移住・定住にもつながる施策であるため、若い世代がわくわくするような阪南市独自の取組を考えていただきたい。 ・「施策のめざす姿」にある「子育てと仕事を両立できる環境が整っており、安心して子どもを産み、育てることができています」という状態に近づけるよう、市全体として当該施策を含む「こどもに関連する施策」にどのように取り組んでいくのか、十分な検討をお願いしたい。 ・子どもが自ら水の事故を回避できる力を身に着けるという観点をもって、プール活動に取り組んでいただきたい。 				

施策名 (施策コード)	施策展開のための人材の 育成支援・確保 (602)	内部評価	★★	外部評価	★★ (1.5)
判定理由	<p>施策のめざす姿の実現に向けて、採用、研修、人事評価に関する様々な取組が前向きに行われていることに加えて、これまでの外部評価委員会の意見を踏まえて、受験率向上につながる主査級昇任選考の見直しや、人材育成につながる研修体系の見直しが行われており、成果が出てきていることを高く評価したい。</p> <p>ただ、職員施策提案制度の実績がゼロ件であることから、風通しのよさなど組織風土の改善や職員の意欲を高めるために、施策の担当課だけではなく、組織全体として積極的に取り組む必要があると考える。</p> <p>今後は、現状の取組を全庁的に継続させることで、人材育成や自己啓発の重要性が職員一人ひとり、組織全体に理解され、各事業の成果がより高まることを期待したい。</p> <p>以上から、内部評価の「★★：施策のめざす姿に近づいている」にやや足りない「★：施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p>				
委員提案 (令和6年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたって社会環境の変化に対応した施策の企画・調整ができる人材の育成支援やさらなる外部人材の活用を進めていただきたい。 ・職員施策提案制度について、職員が提案しやすい仕組みとなるよう、民間の提案制度も参考に早期に制度を見直して、さらなる職員の政策提案能力の向上につなげていただきたい。 ・ストレスチェックは、労働者がメンタルヘルス不調となることを未然に防止する一次予防となるため、受診率 100%を目標に実施に努めていただきたい。 				

3. 阪南市の行政評価制度について

行政評価制度に関する職員の理解は一定程度深まってきていると考えられる。今年度の外部評価の結果を全庁で共有し、施策の展開に反映させていただきたい。

今後、より一層精度と効果の高い行政評価制度とするために、評価の仕組み全体について改善すべき点等は以下のとおりである。

ここで指摘した事項にどのように対応したかについては、次年度の内部評価実施前に報告していただきたい。

① 外部評価の実施に関して

評価シートの作成にあたっては、職員間で十分にコミュニケーションを図っていただきたい。また、ヒアリングにあたっては、十分に準備を行って対応いただきたい。

加えて、ヒアリングの実施にあたっては、施策シートの記載内容の理解を一層深めるため、外部評価委員会が質問を検討する時間を十分に確保できるスケジュールを一度検討いただきたい。

さらに、外部評価委員会の傍聴者を増やすために、外部評価委員会に関心を持っていただけるよう、一層のPRに努められたい。

② 今後の施策・事業展開に関して

社会情勢が大きく変化する、過去からの仕事のやり方にとらわれず、新しいことを積極的にチャレンジするという姿勢で施策・事業を進めていただきたい。

また、行政評価を通じて人材育成にもつなげることを期待したい。

4. 令和5年度 阪南市外部評価委員会開催日程

開催日時及び会場	委員会の議事
第1回 7/31(月)18:00～ (会場) 3階全員協議会室	①市長挨拶 ②委員紹介 ③委員長・副委員長の選出 ④市長から委員長へ諮問 ⑤外部評価実施要領(案) ⑥評価対象施策の選定 ⑦質問票の配布
第2回 8/21(月)18:00～ (会場) 3階全員協議会室	①ヒアリング ②判定区分等について協議
第3回 8/25(金)18:00～ (会場) 3階全員協議会室	①ヒアリング ②判定区分等について協議
第4回 9/7(木)18:00～ (会場) 3階全員協議会室	①ヒアリング ②判定区分等について協議
第5回 9/25(月)18:30～ (会場) 3階全員協議会室	①外部評価のとりまとめ ・判定区分・判定理由 ・委員長の総括文 ②会議録の確認依頼

【阪南市外部評価委員 *五十音順】

氏名(敬称略)	区分	備考
掛谷 純子 (かけや じゅんこ)	学識経験のある者	副委員長
小坂 義(こさか ただし)	市民	
寺田 雄揮 (てらだ ゆうき)	市民	
壬生 裕子 (みぶ ひろこ)	学識経験のある者	委員長
宮崎 博幸 (みやざき ひろゆき)	市民	